



目標具現のための方策 (強く意識して取り組むこと)

正しく判断し行動できる子 【かけがえのない命】	相手の気持ちを考えて行動できる子 【支え合う命】	目標実現に向けてひたむきに歩む子 【輝く命】
<ul style="list-style-type: none"> ○自身で正しく判断し、心と体の健康管理ができる生活習慣づくり ・正しく考え、進んで行動する姿を価値づけ全員で褒める。 ・PTAと連携し、情報モラル教育を確実に推進する。 ○主体的・対話的で深い学びができる授業づくり ・毎時間1回は「自己選択」や「自己決定」ができるようにする。 ・授業の振り返りの時間を確保し、「できた」「わかった」と実感できるようにする。 ・AIDドリルなどを活用し、「朝なる」での学習の時間や家庭学習の充実を図り、基礎的基本的な学習内容を定着できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間のために主体的に取り組める行事や委員会活動づくり ・活動の願いを仲間と共有し、自ら企画・分担しながら取り組ませる。 ・「あいさつ」「ことば」「働くこと」を重点項目とし、自主的に委員会活動に取り組ませる。 ○自らを見つめる力と他を思いやる心を育てる活動づくり ・自分の生活と関わらせて道徳的価値を考える授業を推進する ・「すがおか宣言」をもとに、人権意識を高める取り組みを推進する。 ・毎日の振り返りやすがおか活動で、行動の奥にある気持ちも含めた仲間のよさを見つけ、広めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○達成感や充実感を味わうことができる活動づくり ・日常生活や行事等で一人一人に活躍する場を設け、目標に向けて最後までやりきらせる。 ・活動の振り返りなどで、自他の成長を価値づけ、喜び合えるようにする。 ○地域に学ぶ活動づくり ・学校と地域の伝統を受け継ぐ活動に粘り強く取り組ませる。 ・郡上学において、個別の課題を設定し、資料を選択・活用しつつ粘り強く追求できるようにする。 ○読書に親しむ活動づくり ・保護者や市図書館と連携し、「家読」など本に親しむ活動を推進する。

評価の窓 【()内は「よい」と回答する児童の割合】

安全に心がけて生活 →100%(90%以上)	ほかほか言葉かけ →100%(85%以上)	めあてや願いをもって頑張る →100%(85%以上)
授業が分かる →95%(60%)以上	仲間・地域の人への挨拶 →100%(80%以上)	自分から進んで(1人でも) →100%(60%)以上
進んで発表・しっかり聞く →100%(85%以上)	友だち・他学年の子と仲良く →100%(90%)以上	自分にはいいところがある →100%(60%以上)

<p style="text-align: center;"><教職員の基本姿勢></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの活動に寄り添いながら一人一人のよさを価値付け、成長した姿を保護者とともに職員全員で喜び合える職員集団をつくる。 ○子どもたちに「学びたい」「やってみたい」「できるようにになりたい」という思いをもたせ、主体的に学び、自らの高まりが実感できるような授業を進める。 ○特別活動のねらいや目的を共通理解し、統一した指導と多面的な見届けによって児童に力をつける。 ○教師間の報告・連絡・相談+確認を迅速かつ確実に、組織的に子どもの指導や家庭との連携にあたる。 ○全職員でアイデアを出し合い、児童数・職員数が減少する中でも持続可能な学校経営ができるよう、業務改善を進める。 	<p style="text-align: center;"><保護者・地域・関係諸機関との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者の方とともに、家庭学習の見届けや「家読」などの本に親しむ活動、学校環境整備を実施する。 ○スクールカウンセラーとも情報共有しながら、相談室を効果的に活用し子どもたちの心のケアに当たる。 ○地域の方に総合や社会科、生活科等の授業で地域のことや俳句等を教えていただく。(郡上学) ○牛道駐在所や郡上市警察署と連携して、不審者対応等命を守る訓練を実施する。 ○学校評価を通じて学校経営の方針を決定する。 ○学校運営協議会と連携し、地域の教育力を生かす。 ○学校だよりやホームページ等を活用し、積極的に情報発信をする。
--	--